

1. ユリの魅力を伝える「リリーエンジェル2016」が発表されました
2. 『全国ゆりサミット in ふかや』が開催されました
3. 「いい夫婦の日」には感謝の気持ちをこめてユリを贈ろう！
4. 『チューリップセレクト 2016』注目の 12 品種が決定しました。
5. 「フラワーバルブオブザイヤー2016」はチューリップの『サンネ』に決定！
6. リリーエンジェル 2015 活動報告 10 月～12 月
7. アイバルブ・ジャパンの事務所移転について
8. アイバルブ・ジャパン ニュースレターは終了いたします

1. ユリの魅力を伝える「リリーエンジェル2016」が発表されました

2015 年 10 月 30 日、リリーエンジェル 2016 の 6 名が、ラーディンク・ファン・フォーレンホーヴェン オランダ王国大使主催の昼食会で発表されました。発表会は、リリーエンジェルの産地ユリ生産者、全国の生産団体、市場、仲卸、小売業のみなさま、農林水産省、ユリ球根を日本に輸出するオランダ、フランス大使館関係者のみなさまなど、生産者から小売店までの約 120 名が集まる中でにぎやかに行われました。ポスターカレンダーに刻まれる 2016 年のキャッチコピーは「わたしの生まれた日には、母に、ユリを贈ろうと思う」。2016 年のリリーエンジェルの活動にご期待ください。

* 「リリーエンジェル 2016」発表の様子はこちら

<http://www.lily-promotion.jp/news/news151030.html>

* リリーエンジェル 6 名のプロフィールや動画はこちらでご覧いただけます

<http://www.lily-promotion.jp/angel/profile/2016/>

* 「リリーエンジェル 2016 カレンダー」のダウンロードはこちらから

<http://www.lily-promotion.jp/angel/calendar/2016/>

下写真 左から

1 オランダ王国大使のご挨拶

2 JFGA 球根・切り花部会豊島会長のご挨拶

3 JFTA 宮治会長のご挨拶



1



2



3

左 リリーエンジェル一人ずつご挨拶 右 フランス大使館ニコラ・ベルトレ農務副参事官の発声で乾杯！



2. 『全国ゆりサミット in ふかや』が開催されました

2015年10月31日・11月1日と2日間にわたり「全国ゆりサミットinふかや」開催されました。

ゆりサミットを開催する最大のテーマは、昨年の大雪被害時に全国のユリ生産地・市場関係者・関係機関等、多くの方々にご支援・ご協力を頂き、生産地『ふかや』が復旧・復興できた事への『感謝の気持ち』を示す為のイベントとして取り組みでした。

イベント内容は大きく3つ

- ① 全国のゆり産地・業界団体代表者総勢19名による代表者会議とサミット宣言の採択。
- ② 7万8千人の来場者で賑わう産業祭に併設した、全国の産地のユリの展示と物販。
- ③ オランダ、台湾、日本各地のユリ関係者約180名を集め、「どうなる？2020年東京オリンピックを終えた後、日本のユリ切花産業は？」と題して、アーリー・アルダースさんの基調セミナーを受けて、6名のパネリストによるディスカッション。

<https://prezi.com/uidmvjqryrtp/jp-version-presenation-arie-alders-lily-summit-fukaya/>

開催産地としては、ゆり切花産業を取巻く問題と、将来に向けての展望など多くの意見を聞くことが出来き、また産地全体としてはゲストの方々に対して「おもてなしの心」を持って対応できたことは一つの成果だったと感じています。(JAふかや 南部営農経済センター 高野健一朗さん)

パネルディスカッションを視聴して

基調セミナーとしてデヨング社アーリー・アルダース氏より百合の生育地と生産の歴史、世界の百合切花の状

況についてお話を伺う。内容は①欧州では 2 輪～4 輪と 5 輪以上それぞれにきちんと販売先を細分化して評価を受けている会社がある②蕾の大きさを確保した 2 輪～4 輪の栽培と販売先の細分化が日本でも可能ではないか？③サイズの小さな球根をどのように生かすか？日本はまだ出来ていない。④カサブランカは日本市場だけが求める品種ですべてのサイズの球根の販売先がないと球根の継続生産は困難、日本は 5 輪以上の球根サイズだけを求めて小さな球根を仕入れてくれない⑤世界の育種の方向は、今八重品種に向かっている……(が、ユリの品種開発の歴史は始まったばかり)というような内容でした。 <https://youtu.be/EN8lqFdqBUU>

基調セミナーを受けて金子吉進氏(名古屋花き)、取井宏憲氏(姫路生花)、西原博明氏(J A とさし高石支所)、エバートバンザンテン氏(P・F オニング社)、森山 隆氏(山喜農園)でパネルディスカッション。時間も限られていたので各自一言ずつ話して終わるだけとなってしまったのが残念でしたが、内容としては、カサブランカを含めて日本が欲しい品種の欲しいサイズの球根だけを発注しても球根供給が難しくなっているという事、あらゆるサイズの球根を仕入れて生産した場合に色々な輪数の花が生産されるがそれをどのような用途に販売していけるのか？といった議論でした。

種苗を海外に依存している品目は、海外の種苗販売の事情により大きく影響を受けてしまう。これはバラ、カーネーション、ガーベラ、かすみ草なども同様の事情となっていて、常に起きている状況なので花屋としては特段驚きもしない。好きな品種がなくなるのは困るけれどなくなったからと言って花屋をやめる訳にはいかないので代わりの品種や品目で仕事を組み立てていくただそれだけの事。日常でも仕入原価が高騰してくれば違う品目にシフトして商品を作成しお客様へ提供しているので、冷めた言い方をすると種苗会社や生産者の皆さんと花屋では品種がなくなってしまう事への受け止め方に温度差があるように感じた。カサブランカが世に出て 35 年、シベリア、ソルボンヌも世出て 25 年経過、その間品種の交配が進み色々な品種が世界で産まれていながら日本では上位 3 品種は不動となっている。そのような品目は類をみない異例な品目。その事をどのように受け止めていけばいいのか？その事について議論があまりなされなかったのが残念だった。日本の花消費は業務需要を中心に構成されご自宅需要はまだ少ない。百合においてはさらに圧倒的に業務需要となっているので 30 年近くも品種が変化しないままとなってしまうのかも知れない。次の世代に向けて業務用、ご自宅用にどのような品種を育てていくかべきか？夏季と冬季でどのような品種群とするのか？色々な品種を途切れ途切れで出荷をしても中々うまく行かない現状をどのように変えていけるか？販売単価の低迷の要因は何か？ダリア、ラナンキュラス、トルコキキョウなど市場シェアを伸ばしている品目と比べてどうなのか？などなど議論が必要だろう。ゆりサミットを継続的に取り組んで議論を深めていただきたい。そして百合の消費拡大を議論する際は、①業務用と自宅用を別に！②冬季生産地と夏季産地を別に！切り分けて議論する事も大切なポイントだろう……。

百合は東アジアで産まれたものも多く日本人は百合が好きです。百合の花をたくさん買って頂けるように一緒に考え半歩踏み出してみましょう……。 (株式会社小田急ランドフローラ 宮西陽郎さん)

これまで日本中の産地が会する機会はなかったので、感慨深く、ワクワクして参加しました。 パネルディスカッションにおいては、川上側の「業界はこうあるべきだ」の視点が強く、小売り・消費者の視点が抜け落ちている感じがしました。プロモーションなどはまとまるべきだとは思いますが、消費者に届けるという一点に置いて、もっと自由な発想でシンプルに考えることも必要なのかなと感じました。懇親会や産地視察など、直接お会いしたかった方々にお会いしてお話しが出来、たいへん勉強になりましたし、楽しい時間を過ごしました。(有限会社エフ・エフ・ヒライデ 平出賢司さん)





3. 「いい夫婦の日」には感謝の気持ちをこめてユリを贈ろう！

11月16日（月）から20日（金）、大田市場仲卸通りで「いい夫婦の日」PR展示を行いました。今話題の八重の品種を中心に展示。一本からでもインパクトのあるユリは、いつもとは違う花贈りの主役に。期間中、買参人の皆さんには、ユリのパンフレットや、「いい夫婦の日」のポスターをお持ち帰りいただきました。

・ユリは女性に捧げる花 The lily is for all women

<http://www.lily-promotion.jp/women/>



4. 『チューリップセレクト 2016』注目の12品種が決定しました。

日本国内で栽培される新品種の中から切り花として特に優秀でおすすめの品種を選ぶ『チューリップセレクト 2016』の12品種が決定しました。パンフレット、ポスターはこちらからダウンロードできます。

<http://www.ibulbjapan.jp/works/tulip2016.html>



チューリップセレクト 2016



日本国内で栽培される新品種の中から切花として特に優秀でお勧めの品種を選びました



シシフォニー
Sisifonie
2月上旬～3月下旬
一重咲き



アバンギャルド
Avant Gardie
1月中旬～3月下旬
八重咲き



ノースキャップ
North Cap
1月上旬～3月中旬
八重咲き



パープルクリスタル
Purple Crystal
2月中旬～3月下旬
フリンジ咲き



スピットファイアー
Spittire
1月下旬～3月下旬
八重咲き



タイズブーツ
Tija Boots
1月上旬～3月下旬
一重咲き



ショーケース
Showcase
1月下旬～2月下旬
八重咲き



アドール
Adore
2月上旬～3月下旬
八重咲き



マンチンガー
Manchester
1月上旬～3月下旬
一重咲き



シュガープリンス
Sugar Prince
1月上旬～3月下旬
一重咲き



ミラータイム
Mirror Time
2月上旬～3月上旬
一重咲き



タイムレス
Timeless
2月中旬～4月上旬
一重咲き

5. 「フラワーバルブオブザイヤー2016」はチューリップの『サンネ』に決定！



2016年のフラワーバルブオブザイヤーはチューリップの『サンネ Sanne』です。チューリップセレクト 2013 にも選ばれ、ずっと尖ったユリ咲きの花びらが特徴です。甘い良い香りがするサンネは、花色は咲き進むにつれ、桃色から杏色に変化する変わり咲き品種です。注目の変わり咲き今から楽しみです。

※フラワーバルブオブザイヤーのページ

<http://www.ibulbjapan.jp/works/year.html>

6. リリーエンジェル 2015 活動報告 10月～12月

10月23日(金)、リリーエンジェルの佐竹あずさんが、第7回京都生花 秋の第展覧会『京の花絵巻』(10月21日～23日開催)に参加、「京の花絵巻」サンプル配布のお手伝いなどをいたしました。品種展示だけでなく、講演会、交流会、コンテストなどを通じてユリをアピールしました。



11月7日(土)・8日(日)にJR大阪駅ビル5階、時空の広場でおこなわれた「高知の花」展示会～高知の花でいい出会いに佐竹あずさんが参加しました。JFTD ジャパンカップチャンピオン日坂明広氏の実演などがあ

りました。さらに、26日（木）には、サンメッセ香川でおこなれた四国4県合同の取り組み、「四国の花商談会」にも参加しました。



また、11月2日（木）、リリーエンジェル高橋桃子さんが庄内の花フェアがおこなわれた大田市場にてセリ前挨拶をおこないました。ショーケースにはストックやダリアとともにオリエンタル系のユリが各種展示されました。



7. アイバルブ・ジャパンの事務所移転について

この度、アイバルブ・ジャパンは平成28年1月1日より下記に事務所を移転し業務を行います。尚、電話・FAX番号 メールアドレスも下記の通り変更となりますので、お手数ですがご登録の変更などよろしくお願いいたします。今後とも何卒、宜しくお願い申し上げます。

新事務所

〒206-0823 東京都稲城市平尾2-103-2

Tel 042-201-7574 / Fax 042-403-3274

Mail info@ibulbjapan.jp

8. アイバルブ・ジャパン ニュースレターは終了いたします

2009年4月に、オランダ国際球根協会から発行されたニュースレター『Bol tot Bloemen』は、アイバルブ・ジャパン『Information&Inspiration』と形を変え引き継がれました。今から読み返しても興味のある内容がいっぱいです。2015年冬号まで全21号をお届けしてきましたニュースレターですが、今号をもってメール配信は終了となります。これまでのバックナンバーはこちらでご覧いただけます。

<http://www.ibulbjapan.jp/newsletter/>

今後はアイバルブ・ジャパン、リリープロモーション・ジャパン、それぞれのHP内でニュースをお届けしてまいります。

■ アイバルブジャパン・ニュースレター2015年冬号（第021号） 発行：アイバルブ・ジャパン

■ HP：www.ibulbjapan.jp メールアドレス：info@ibulbjapan.jp

